



□ 新河岸川の風景—高沢橋～濯菜公園あたり

川越の町と新河岸川は切っても切れない関係にある。市内大東地区を起点とするこの川は、川越台地の回りを半周し、都内赤羽先で荒川と合流する延長26kmの河川で、このうち市内の流れは11.7kmに及ぶ。排水の問題で汚れていた流れも浄化運動などにより息を吹き返し、護岸は公共整備により着実にきれいになってきている。いまだにメガネ橋とかつての石橋当時の愛称で呼ばれるほど高沢橋は身近な存在であり、ここから近年整備された濯菜公園あたりにかけては、新河岸川の良きシンボル景観となっている。

